

福井大地震、能登半島の災害を教訓に！ 防災教室を開催します

私たちが住む高棕東部地区は、1948年に発生した福井大地震(マグニチュード7.1の直下型地震)の震源地(丸岡町末政地係)とされています。また、昨年発生した能登半島地震、さらに豪雨の被害を目の当たりにして、身近に起こりうる自然災害に備えた防災対策は非常に重要であると認識しております。そこで、たかとり郷づくり協議会・高棕東部地区区長会では、災害を教訓とした防災教室を6月15日(日)に開催します。

自衛隊福井地方協力本部の隊員を招き、能登半島の人命救助や避難所支援に従事した際の支援活動を映像とともに住民同士でディスカッションします。また、嶺北丸岡消防署・地元消防団からは、初期消火行動や災害時で活躍する支援車両を体験いただきます。

「誰ひとり取り残さない」をキーワードに安心安全な地域づくりを目指し、児童と保護者、各種団体、一般参加者など、地域一体となって学び、体験する防災教室を実施いたしますので、ぜひ取材をお願いします。

【炊き出し訓練】 ハイゼックスを使った非常食の調理体験

【実地訓練】 ロープワーク、簡易担架訓練、応急手当、放水体験
支援車両の展示、高機動車の体験試乗、災害救助パネルの展示

【〇×クイズ】 災害時の地域福祉をわかりやすく学習

と き 6月15日(日) 9:00~12:00

ところ 明章小学校 体育館、グラウンド(坂井市丸岡町油為頭第14号5番地)

参加者 明章小学校児童と保護者、地区住民、区長、福祉関係者

主 催 たかとり郷づくり協議会・高棕東部地区区長会

スケジュール

9:00 開会

9:15 災害活動現場の映像を見ながら参加者同士のディスカッション

9:30 炊き出し訓練

10:00 実地訓練(ロープワーク、簡易担架、応急手当、高機動車体験、放水、支援車両)

11:45 〇×クイズ形式 災害時の地域福祉について

11:55 閉会

12:00 終了